

学校区の緑の割合を調べよう

緑の割合（緑被率）は、その地域の自然度を知る意味でも重要です。また、経年的に緑の割合の変化の情報を持つことは、私たちが自然を保全していくための指標にもなります。

ねらい

地区の緑が占めている割合を意識しながら生活できるようになる。
疑問に思ったことを、自力で調べるようになる。

達成目標

- ・学校区の緑の割合を調べる方法を説明できるようになる。
- ・学校区の緑の割合を言えるようになる。
- ・緑の割合と自然の感じ方（多く感じるかどうか）などの特徴を説明できるようになる。



導入

自分たちの学校区の範囲が、どれくらい緑（樹木）で占められているか、推定値を出し合ってみる。緑の割合を調べるためには、何をしたらいいか、アイデアを出し合ってみる。

ふりかえり・わかちあい

調査した結果を見ながら（それぞれが活動したプロセスをふりかえりながら）、感じたこと、気づいたことについて話し合う。

実施のポイント

ワークシートの方眼の一边が区切りのよい、びったりの長さとなるような縮尺で学校区の地図をコピーするとよい。あるいは、学校区の地図に方眼を入れてもよい。方眼がこまかい程、正確な値が得られる。

- ◆所要時間 15時間
- ◆人数 5~40人
- ◆関連教科等 総合的な学習の時間、算数、社会、理科
- ◆焦点を当てる能力 計画する、実行する、とりまとめる、意見を言う、再計画する
- ◆準備するもの 学校区の地図、ワークシート
- ◆安全のポイント 学校区内を歩いて調査する時に、交通事故や怪我などが起きないように十分気をつけるよう繰り返し伝える

本体

皆が納得した方法で調査を始める。方眼（メッシュ）が入った地図を準備し、学校区内を調べて歩いて緑（樹木）が覆われている所を緑色などで染める。草地や空き地などは別の色で塗ってもよい（以上はグループで分担するとよい）。方眼の数を数えて緑の面積の割合を出す。

まとめ

この調査の結果が何に役立ちそうか、皆で話し合ってみる。また、同じ調査をやるとしたら、より容易で正確な方法にはどのような方法が考えられるか、話し合ってみる。

評価の視点

調査の一連の作業に積極的に関わり、自分の意見が言えること。左の焦点をあてる能力が発揮されること。

発展・応用

他の地域の緑の割合について、役所などに問い合わせる調べ、自分たちの値と比較して考察してみよう。また、航空写真を入手して面積（割合）を割り出し、実踏して得られたデータと比較してみるのも面白い。

オリジナル／自然教育研究センター

学校区の緑の割合を調べよう

- ◆ 学校を中心にした地図（^{はんい}範囲を決める）を書きましょう（^{しゆくしゃく}縮尺を合わせましょう）。

- ◆ 歩いて調べながら、緑（木）のある所に色をぬりましょう。
- ◆ 全体の面積に対する^{りよくち}緑地の^{わりあい}面積の割合を計算して出しましょう。

- ◆ 作業をとおして気がついたこと、発見したことを書いておきましょう。

年 月 日 名前